

# ほ

田平ホーム広報誌

# ほえみ



令和7年5月発行

社会福祉法人 慈愛会 特別養護老人ホーム 田平ホーム ☎0950-57-1966 FAX0950-57-2185 ホームページ <http://www.tabira-home.or.jp>

## 新施設完成！

## 地域の福祉を支える、新たな一歩



### 特集

田平ホーム  
新施設完成 ユニット型施設へ  
冬から春の行事紹介

- P.7 昔のあそび／あやとり  
私の喜怒哀楽
- P.8 作品紹介  
職員の想い  
行事予定  
私のあの頃
- P.9 読む!ヨム! 定期だより
- P.10 田平ホーム 旬情報  
Welcome 田平ホーム  
こんな研修受けました

# 田平ホーム新施設完成

令和7年4月 従来型からユニット型へと移行致しました



## 慈愛の心で 信頼され続ける施設に

平素より当法人の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。社会福祉法人慈愛会は、昭和54年4月1日に定員50名の特別養護老人ホーム田平ホームを開設、昭和62年には定員60名と事業を変更し、平成8年には定員10名のショートステイを併設しながら、大きく変化していく事業環境の中、介護保険制度の目的に沿ったサービス提供の担い手として、また地域に開かれた施設運営の姿勢を忘れることの無いよう心がけながら地域社会の一助となるべくその使命を果たしてまいりました。

開設より46年の月日を経て老朽化が進む施設の建替えは長年の課題でありましたが、多くの方々のお力を借りながら無事竣工の運びとなり、今後はユニット型施設としてまたひとつの大きな節目を迎えることとなりました。創立以来、幾多の辛苦を乗り越え、発展を成し遂げてきた歴史ある法人であるという自負の下に、これまで培った経験を存分にいかしながら、その安定性をさらに強化すると同時に新たな機器や知識を会得する革新性にも目を向けた法人運営を進めることで、全ての職員が良質なサービス提供に専念できる組織づくりを続けてまいります。

社会福祉という仕事は、優しさと慈愛の心に満ち溢れた素晴らしい仕事だと常々感じています。法人名でもあります「慈愛会」の名に恥じぬよう、高齢化社会の中で高まる介護施設の重要性に対し円滑な運営と信頼される施設であり続けることを目指してまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 慈愛会

理事長 石本宗裕



▲神主様 ご来訪

さあ！新生活へ！  
みんなでお引越し！

新施設の入り口までは登り坂。  
職員お手製のスロープの上を  
入居者さんと職員と力を合わせて登ります。



家具もお引越し！ お手伝いを頂いて、みんなて運びました。

## 心からお礼と感謝を

日頃より、多くの方々に温かいご支援とご協力を頂き、心からお礼と感謝を申し上げます。特別養護老人ホーム田平ホームは、この春、新たにユニット型の施設となりました。そのような大きな変革の中、施設長に任命していただき職責の重大さに戸惑っておりますが、前施設長のご助言と職員の力を借りながら、より良い施設運営を目指し努力して参る所存です。

安心・安全・快適「思いやりの心で寄り添い安心できる快適な暮らしを支援します」の理念のもと、入居者様一人ひとりの個性、生活リズムを尊重したサービスを家庭的な雰囲気の中で楽しく過ごしていただけるよう提供いたします。また、職員とともに協力しあいながら、これまで培ってきた経験を存分に活かして入居者の皆様、ご家族の皆様に安心していただけるよう努め、地域の中で皆様のご支援を頂きながら、より良い施設に成長していけるよう努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

特別養護老人ホーム田平ホーム  
施設長 石本 千夏

# 新生活スタート!

新しい施設での暮らしは  
どうですか?



そりゃねえ...



ふあふあふあ...



どうかしら...



近藤美恵子さん

良すぎて(笑)何でも自動になつとるけん、慣れに  
やいかんところもありますね。  
一人部屋は周りに気を遣わんけんよかです。

まだわからん。前より良かごたる(笑)



川口ミサエさん

## 『新たな門出に、心をこめて』

新施設へのお引越しを無事に終えたその夜、皆様の門出をお祝  
いする赤飯と祝い膳が提供されました。慣れ親しんだ場所から  
新たな環境へ。少し緊張もある中で、笑顔と温かい食卓が、心  
をほぐすひとときを作ってくれました。  
これからの毎日が安心と喜びに満ちたものでありますように。



新しく気持ちいい。前の施設に比べて職員がより傍にいますので安心です。環境が変わってテーブルの高さやトイレ、洗面台の高さも変わってしまったので職員さんをお願い、相談しながら工夫して暮らしていかなばですね。



田中千佳子さん



早田ツル子さん

まだ右も左もわかりません（笑）  
きれいかですね。  
広くなって掃除して回るとが大変かごたるです。（笑）



藤村トキ子さん

気持ちのよかところ。顔見知りのおるけん寂しくはなかね。



▲居室トイレ  
可動式の手摺りと背面クッションがついています



▲居室洗面台 車いすでの使用がスムーズ



▲入浴室  
リフトキャリーを備えた個別対応可能なお風呂

～新たな一歩とともに、

これからも心に寄り添うケアを～

より快適に、より安全に、そしてより温かく、ご利用者さま皆様が笑顔で過ごせる場所を目指して整えたこの新しい環境は、これまで培ってきた思いやりや信頼の上に築かれた、希望の拠点でもあります。寄り添う心を大切にしながら、「ここに来てよかった」と思っただけのホームづくりをこれからも進めてまいります。

# 冬から春の行事紹介

特集2

## 春のドライブ

春風に乗せて、笑顔を咲かせに。3月21日、穏やかな陽気に誘われて春のドライブへ。「きれいかねえ」と自然と会話も弾みます。お一人おひとりがそれぞれのペースで春の息吹を感じていらっやいました。



▲心地よい春風を感じ、心も晴れやか



## 呈茶会



心和むひととき。3月7日は呈茶会を行いました。お茶菓子の上品な甘さとほろ苦いお茶の組み合わせはまさに絶品。私たちスタッフも皆様の穏やかな笑顔に触れ、心が温まりました。



▲菓子の上品な甘みがお茶の苦さを引き立てます



▲穏やかな雰囲気の中、笑顔の花が咲きました

## 料理クラブ

2月20日は料理クラブの日でした。今回は焼きそばを作りました。炒める音、ソースの香り、そして、皆さんの笑顔！活気あふれる焼きそば作りとなりました。



▲エプロン姿が凛々しいです



▲熟練の技が光る？愛情たっぷり焼きそば

## 節分

2月3日に節分の豆まきを行いました。豆の代わりに紙玉を投げて鬼退治！邪気を払い、一年間の健康と幸運を祈願しました。鬼役の職員は年女です。



▲笑顔で鬼退治！福よ！来い！

# 昔のあそび

mukashi no asobi

第13弾

## あやとり



あやとりは、わっか状に結んだ毛糸を指にかけてとり、さまざまな形を作って楽しむ遊びです。

日本で昔から親しまれてきた伝承遊びの一つのため長い歴史があり、たくさんの技や作り方が残されています。ひとりでも、二人でも、グループでも遊べるもので、代表的なものでは『ほうき』『はしご』『橋』『富士山』『亀』『ダイヤモンド』等。手先を使うので脳トレの効果もありますね。



▲太めの毛糸で作ったものが使いやすいそうです

『小さいころは、遊んだよ。でも、今は忘れてしまったかな。』とあやとりの感触を楽しみながら語ってくれたのは小島チツ子さん。(写真右)「妹がいてね、年上の子が下の子に教えたりしよったね。」とお話は続きます。

『私は手がリウマチでかなわないけれど、いろいろ作って遊んでいたのを覚えているよ』と藤沢花子さん(写真左)は手にあやとりをかけながら話してくださいました。

『女の子は小さい時に必ずやった遊びのひとつよね。』『子供たち同士で教えあってねえ』と思い出話に花が咲きました。

## 私の喜怒哀楽

第59回目は、管理栄養士の 森 智美 編です。

利用者や職員の最近感じた『喜び・怒り・悲しみ・楽しみ』を紹介します。

建物が新しくなっ  
て、厨房がきれいにな  
ったこと。ピカピカの  
厨房で、気分もピカピ  
カ！きれいな設備を  
大切に使おうと決意  
も新たに、嬉しい気持  
ちになりました。

なるべく怒らないよ  
うにしています。感情  
の起伏が大きいと、体  
が疲れてしまうので  
…。もちろん、日々腹  
の立つことありま  
すが、さざ波程度の怒  
りで収めています。

矛盾してしまいま  
すが、旧田平ホームの施  
設が取り壊されてしま  
うのが哀しいです。  
思い出や愛着があるも  
のも多かったので、壊  
されてしまうのか…  
という想いです。

最近できていないので  
すが、気に入った本や  
漫画を全巻揃えて一気  
読みをすることです。  
インターネットなどで  
大人買いをして、『読む  
ぞ〜！』というのが楽し  
みです。

# 職員の想い

No.89



看護職

黒木 美子

『縁の下の力持ちになって…』  
自宅から車で 3 分の田平ホームで働くことになり 1 年弱になりました。最初は 70 名の入居者の顔と名前、仕事を覚えるのに必死でしたが、今では何気ない会話を楽しんだり、『ありがとう』の言葉に喜びを感じたりしています。入居者様は自身で体調の変化を訴えることのできない方が多くいらっしゃるため、他職員と連携して異常の早期発見に努め、入居者様が安心・安楽に生活ができるよう、これからも頑張っていきたいと思えます。

入居者様の作品を紹介しています

# モールドール

ふわふわのモールドールをまけて、かわいいうさぎ? を作りました。チェーンをつけて気ホルダーに仕上げました。

こんなのから人形になる? と言いながら、出来上がった人形に笑顔♡



金子ミチ子さん (90)



私はこの色が好きなよ。

鳥山シモ子さん (93)

人形を手にしたうれしそうなお顔!! フムフム。意外と簡単ね



近藤アツ子さん (91)

# 行事予定

5月

外庭散策  
端午の節句

6月

七夕飾り準備  
料理クラブ

# 毎月行事

## 食事会

季節感のある献立や  
普段とはちがうスイーツを召し上がります

## クラブ活動

各ユニットで福祉まつりや文化祭の作品作りを行っていく予定です



# 私のあの頃

長崎県平戸市

栗林洋子 さん (84)



▲呈茶会参加の栗林さん

元々は高知県のご出身だそうですが、東京にお勤めしていた際にご主人と出会い、結婚して田平町に住むようになったとか、お写真はご主人と出会った頃の多摩川の土手だそうです、とてもお綺麗ですね。

栗林さんは、大変ユーモアがあり、周りの皆さんや、職員をも楽しませてくださいます。



若いころの写真は自分で選びました

読む！  
ヨム！

# 定期だよ！

各職種よりお知らせ、  
お願い、その他

## ある日のお散歩

外を眺めている一人の入居者へ声をかけると「よか天気ね。桜でも近くで見たいね。施設もどのくらいできたんだろうか。」と言われました。外へ出て季節を感じ暖かくなった気候に表情も明るくなり、桜の美しさと新しい施設の工事の完成を見て一緒に喜んでいただきました。会話の中で「うちでも花は好きで庭にもよう育ったよ。取りに行きたいくらいあるけれどな。今なら咲いてるから見せてあげたかね。」と花の話題で散歩をしました。「これからも何気ない会話を大切に寄り添い、このような時間も大切にしていきたいと思います。」

## 介護日和

会話のなかでその人らしさに気づきます

by 介護職 加権 喜代美

## 目や鼻のかゆみ…

だんだん暖かくなり花粉が飛散する季節となりました。花粉症は花粉に対するアレルギー反応で主にくしゃみや鼻水鼻づまり、目のかゆみなどの症状が現れます。対策としては、外出時のマスク着用、外出からの帰宅時は洋服についた花粉を払う、手洗いうがいを行うなどの対応で症状を緩和することができます。



## 医務室通信

花粉症対策も  
積み重ねが大切  
ですね

by 看護師 船原 淑見

## ピカピカの厨房大切に

既存の器具も使用しますが、新たに冷蔵庫や冷凍庫などの機材も増え、ガス炊飯器以外は電気となり、鍋も電磁調理器用になりました。厨房自体も広くなり、まだどこに何があるか覚えておらず、ウロウロと探しまわり戸惑うことも多いのですが、設備が整っているピカピカの厨房に感謝しつつ食事を作っています。

## 厨房MEMO

変わらず、  
美味しく楽しい  
食事をご提供。

by 管理栄養士 森 智美

## 楽しく健康維持

いよいよユニット型施設が4月15日より開設となりました。入居者の方はもちろんのこと、職員も慣れない環境に、色々なハプニングがおきつつ、慣れていこうと一丸となつて頑張っております。さて、機能訓練といましては以前、集団での運動を午前中に行っておりましたが、現在は午後からに時間を変更し取り組んでおります。どうやら午後からの方が皆さんしっかりと覚醒しておられ、はりきって運動に参加できているように見えます。健康を維持して楽しく生活ができるようにサポートして参ります。

## 機能訓練の栞

一日でも早く  
環境に慣れる  
ようサポート  
します。

by 機能訓練指導員 村田 紀美子

## お願い 面会について

ご家族の皆様には面会につきまして、ご協力を頂き、ありがとうございます。現在は新しい居室での面会を行っていただいています。電話での予約は不要ですが、お電話いただければ入浴時間の調整などをすることが可能です。

☎0950-57-1966

## ショートステイのご利用

令和6年度、延べ人数ですが男性20名女性137名のご利用を頂きました。一日平均7・8人。利用率78%でした。5、6月が64%。11月が90%と月ごとに隔たりがありました。これはコロナ感染症の発症があったためと考えています。

介護度別には要介護1が22人。2が75人、3が27人、4が32人、5が1人で、平均介護度は2・42でした。前年は2・52でしたので0・9ポイント低くなりました。

年度末にあたり、様々な数字を見比べると、コロナ禍が去り、一年間にあつたこと、ご利用者の様子などとも思い起されて参ります。

## ショートステイ

令和6年度も多くの皆様にサービスをご利用いただきました。

by 事務長 山本 ゆかり

# 旬

新しい施設 田平ホームらしさを大切に  
変わらぬ真心で、毎日を過ごしていきたいです

## 馴染みの曲に鼻歌も

3月26日舞踊の披露に来て下さったのは地元平戸で練習を重ねる花みずきの会。舞フレンズの皆さんです。コロナ禍を経て、久しぶりの舞踊披露のボランティアに、入居者の皆さんの鑑賞の目も輝きます。和装の手作り衣装を身にまとい、華麗な踊りっぷりでした。



## お花のプレゼント

駐車場から施設への道の途中にはご近所の方が見事な花壇を作っています。春になり沢山咲いた、ストックやノースポール等、色鮮やかな花を切り花にして届けてくださいました。季節を感じるプレゼントがありとうございます。花を見て美しいと感じる心は老若男女共通ですね。

3月21日には北松農業高校の生徒さんが育てたシクラメンの鉢花を届けて下さいました。こちらは食事テーブルに飾らせて頂きました。

## 介護ロボット導入

介護される側の安全性や安心感。介護する側の腰痛予防や一人介助。ロボットが助けてくれる時代です。この度移乗支援ロボット「Hug」を導入。楽に立てる、安心感があると好評を得ています。インカムや見守りカメラも稼働中。便利に使って、業務改善に臨みます。



## おやつの日

花見に団子、集まれば茶話会。おやつを頂く入居者の皆さんにとっても楽しみのひとつです。毎月『おやつの日』を設け、おはぎやモンブラン、さくらもちやどら焼き、ババロア、ゼリー等様々なおやつを楽しんで頂いています。ちなみに3月は桜の焼き印を入れた春ドラ焼き4月は甘茶と蒸しパンを提供しました。



## 3名の新入職員

介護人材の不足は社会的にも大きな問題で、賃金アップの国の支援や、外国人材の活用など、様々な対策が行われている中、田平ホームでは今春、3名の新人職員を迎えることが出来ました。性別も経歴も違う3人ですが、一緒に働けることを喜ばしく感じています。

まずは慣れ入居者の皆様を覚え、覚えて頂くこと。若い3人ですのぞならず成長し、地域の高齢者福祉を共に支える存在でありたいと思います。



## ご質問はお気軽に

4月15日から、ユニット型がスタートし、入居者の皆様のお部屋、生活スタイルや、利用料金、面会の仕方など、多くのことが変わりました。ご家族の皆様にも、入居者の皆様のご様子や、生活ぶり等ご不明な点がございましたら、引き続き、丁寧に対応していきたく思っております。ちよつとしたことから、お困りごとまで、気兼ねなく、お寄せください。

現在は感染症の状況による面会の制限もございませんので、入居者様の居室や施設内の雰囲気もご訪問時に感じて頂ければと思っています。

月に一度、瀬戸山教会の神父様がお祈りを授けに来て下さっています。瀬戸山教会だけでなく、平戸市内のカトリック信者の皆さんも一緒にお祈りをなさいます。皆さんが神父様の訪問を楽しみにしていられるのがわかります。

## File 09

# 研修

介護福祉士としての誇りをもって頑張ります



## 介護職 西山 沙和

介護福祉士になるために必要な「介護職員実務者研修」を田平ホームのキャリアパス支援制度を利用して受講しました。私は初任者研修を修了していたので、免除の科目もありましたが、受講期間は6ヶ月あり、分厚いテキストと、スクーリングで多くのことを学びました。合格出来て良かったです。



# 今月の素敵写真



入居者の皆さんの素敵な笑顔の写真を「今月の素敵写真」としてご紹介します。



## 編集後記

どうしても、引っ越しや新施設について御紹介したかったのですが、4月1日発行を遅らせ、ほほえみ141号は5月1日発行とさせていただきます。令和7年度広報委員会も新体制となり、何とかはじめての広報誌発行をすることが出来ました。これからも変わらず、入居者様、ご家族、地域の皆様、そして職員にも喜ばれる『ほほえみ』を力を合わせて作って参ります。変わらぬご愛顧をお願い致します。

表紙の  
写真

## 新しい施設



4月2日落成式、14日引っ越し、15日開設と新施設での生活が始まりました。新しい施設は気持ちよく、入居者、ご家族、地域の皆様のご協力があったからこそ、田平ホームが運営されているのだということを感じて感ずる機会となりました。

施設見学会にも多数ご来場いただきましたことを、末筆ですがお礼申し上げます。

社会福祉法人 **慈愛会**

特別養護老人ホーム  
短期入所生活介護事業所  
介護予防短期入所生活介護事業所

**田平ホーム**

〒859-4825 長崎県平戸市田平町山内免214番地1  
☎ : 0950-57-1966 FAX: 0950-57-2185  
ホームページ : <http://www.tabira-home.or.jp>